

九大広報

KYUSHU UNIVERSITY CAMPUS MAGAZINE

Vol.
116
2019 Oct.

特集1

九大CHEMISTRY

[九大ケミストリー]

祝! 周期律発見150周年

スペシャル
対談

「未知なる 元素を求めて」

九州大学 大学院
理学研究院 物理学部門

森田 浩介 教授

九州大学 大学院
理学研究院 化学部門

酒井 健 教授

特集2

CloseUp! 九大

第60次南極地域観測隊 特別鼎談

「地球の果て、 南極の地で学んだ 支え合いの精神。」

九州大学 大学院 比較社会文化研究院

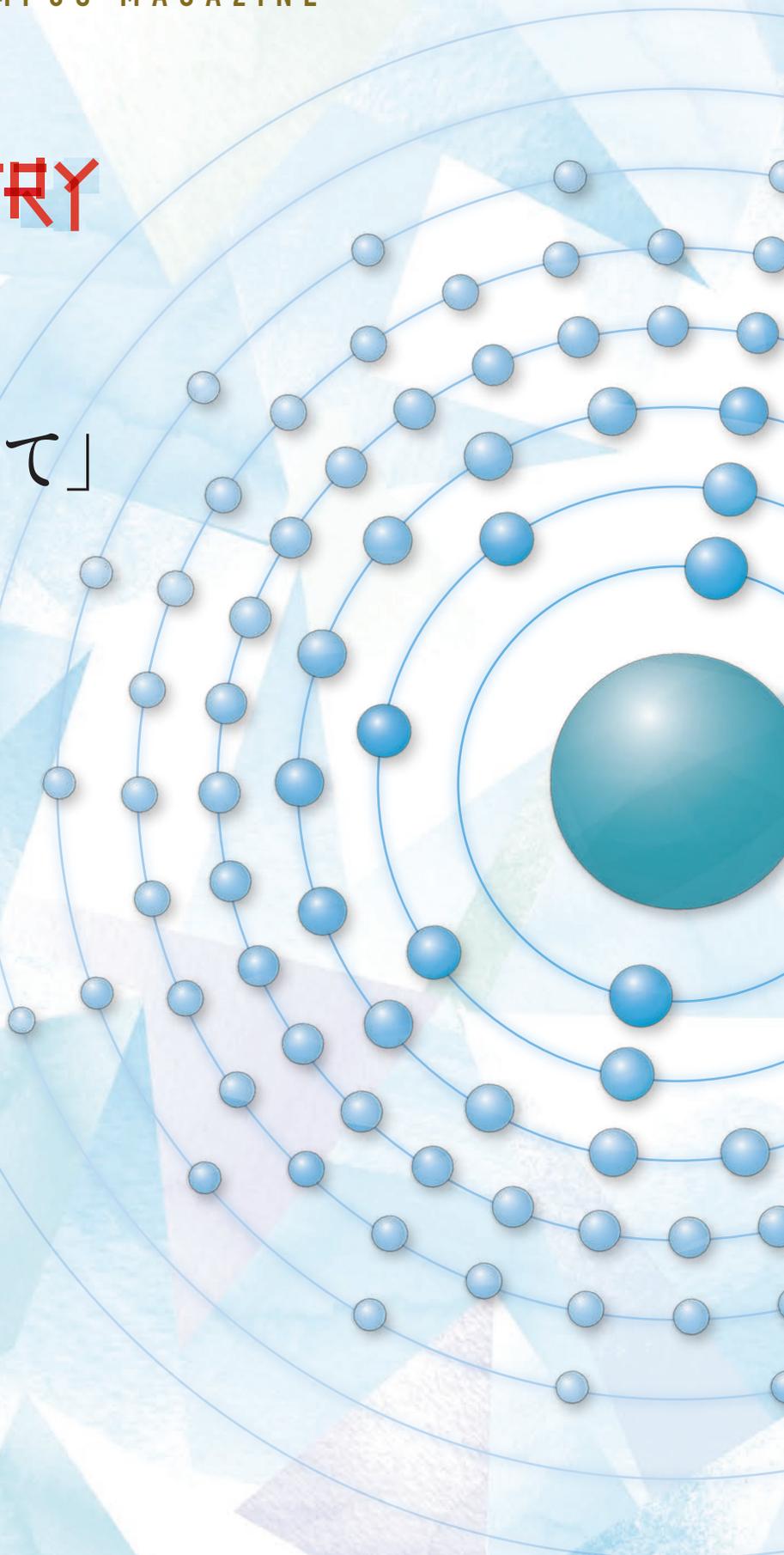
北野 一平 特任助教

九州大学 大学院 工学府 航空宇宙工学専攻 修士2年

堤 雅貴 さん

九州大学 大学院 理学府 地球惑星科学専攻 博士1年

村松 弾 さん

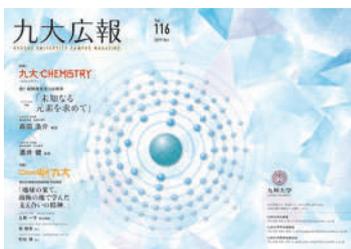


■編集・発行：九州大学広報室
〒819-0395福岡市西区元岡744
■TEL：092-802-2130
■FAX：092-802-2139
■E-mail：koho@jimu.kyushu-u.ac.jp
■Webサイト：http://www.kyushu-u.ac.jp/
■印刷：凸版印刷株式会社
■編集協力・取材：永井直美
■取材協力：株式会社アンテリンク
■撮影：スタジオ サラ
■デザイン：株式会社ライトブレイン

◎お読みになってのご感想やご意見をお待ちしています。
◎本誌記事を転載する場合は、事前に九州大学広報室までご連絡願います。
◎「九大広報」は九州大学Webサイトでもお読みいただくことができます。
◎次号は、2020年1月発行予定です。

CONTENTS

第58回七大戦レポート	02	
特集1 [九大ケミストリー]	03	祝! 周期律発見150周年 スペシャル対談 「未知なる元素を求めて」 九州大学 大学院 理学研究院 物理学部門 森田 浩介 教授 九州大学 大学院 理学研究院 化学部門 酒井 健 教授
特集2 [Close Up! 九大]	07	第60次南極地域観測隊 特別鼎談 「地球の果て、南極の地で学んだ 支え合いの精神。」 九州大学 大学院 比較社会文化研究院 北野 一平 特任助教 九州大学 大学院 工学府 航空宇宙工学専攻 修士2年 堤 雅貴 さん 九州大学 大学院 理学府 地球惑星科学専攻 博士1年 村松 弾 さん
記者会見レポート	11	●世界で拡大するデザインへの期待に応えるため、5学科を1学科に ●海洋プラスチック汚染研究で世界をリードする 磯辺篤彦教授 最新報告 ●未来の科学者を育てる九大プロジェクト今年度も開講! ●「ロボジョ」古澤美典さん、世界へ再び挑戦!!
KYUDAI Topics	15	さまざまな話題をご紹介します／受賞のお知らせ
躍 動	19	女子ラクロス部
九大から世界へ 世界から九大へ	21	世界のキャンパス 留学生体験記
九州大学基金 35	23	
同窓会だより	27	
Museum Report	29	「九大博物館所蔵の文化財指定品」
Information	30	



[表紙について]

今号の巻頭特集は、周期律発見150周年を記念して、ニホニウムを発見した森田教授、IUPAC理事を務める酒井教授によるスペシャル対談と、第60次南極地域観測隊に選ばれた3名による鼎談という豪華な2本立てとなっています。

表紙のデザインは特集内容に合わせて、「元素」の電子配列をビジュアル化したものをメインモチーフにしてアカデミックさを表現。「南極」の氷をイメージしたグラフィックをバックに、全体のトーンをブルーでまとめました。堅苦しさを感ぜすぎないように、バックのグラフィックには水彩タッチのやわらかなテクスチャを施し、特集タイトルの明るい文字色をポイントカラーにしました。

アカデミックでありつつ、読み物としても楽しめるような内容の特集になっていますので、表紙デザインと併せて記事の方も楽しみください。

第58回七大戦 レポート



全国七大学総合体育大会は「七大戦」とも呼ばれ、北海道大学・東北大学・東京大学・名古屋大学・京都大学・大阪大学・九州大学の七大学が自校の伝統と誇りをかけて戦う、半世紀以上続いてきた歴史ある大会で、毎年各大学が持ち回りで主管校を務めています。58回目となる今年には本学を主管校として開催され、令和元年7月6日(土)、本学伊都キャンパスの椎木講堂で、「第58回全国七大学総合体育大会開会式」を開催し、七大学の関係者約300名が出席しました。令和元年8月14日(水)には、名古屋大学・東北大学を除く各大学の応援団・チアリーディングの約120名が集結し、福岡国際センターからJR博多駅までパレードした後、JR博多駅前広場で個性豊かな演舞を披露し、互いの健闘を願いました。

応援を受けた出場選手たちはそれぞれの思いを胸に、本学のホームグラウンドである福岡の地で熱き戦いを繰り広げ、本学は3ポイント差で惜しくも4位でしたが、選手たちの頑張りで、前大会の6位から大躍進の結果となりました。

第58回七大戦は、令和元年9月21日(土)に本学椎木講堂にて行われた閉会式にて戦いの幕を閉じました。

選手の皆さん、お疲れさまでした!

七大戦結果報告

総合順位:4位



ヨット/剣道(女子)/硬式野球/
バレーボール(女子)/弓道(男子)/
水球/自動車/ラクロス(男子)/
ソフトボール



特集1

九大CHEMISTRY

[九大ケミストリー]

異なる分野で活躍するプロフェッショナルの対談です。

[物理 × 化学]

スペシャル
対談

祝！周期律発見150周年

未知なる元素を求めて

森田 浩介
教授

九州大学 大学院
理学研究院 物理学部門

酒井 健
教授

九州大学 大学院
理学研究院 化学部門



2019年は、周期律の発見から150周年を祝う「国際周期表年」です。国際純正応用化学連合（以下、IUPAC）が中心となつて、世界各国で祝賀行事が開催されています。そこで今回は、IUPACの理事であり、日本学術会議国際周期表記念事業検討分科会の委員長を務める理学研究院酒井健教授と、113番元素「ニホニウム」を発見した理学研究院森田浩介教授の対談を企画しました。ぜひ、皆さんも元素の神秘に触れてください。

この対談は、2019年9月10日、
本学伊都キャンパスウエスト1号館8階情報学習プラザで行われました。

物理や化学の面白さを もつと知ってほしい

酒井 私はIUPACの委員を長く務めており、日本学術会議のIUPAC分科会及び国際周期表年記念事業検討分科会では委員長を務めています。今年1月にパリであった国際周期表年の開会式にも参加しました。閉会式は、12月に東京で開催される予定です。理系離れが叫ばれて久しいですが、日本でも国際周期表年を機に化学や物理に興味をもってもらい、その重要性を再認識してもらいたいと思っています。ところで周期表は、2016年にニホニウムをはじめ4つの元素が発見され、第7周期まで完成しました。森田先生は、その意義をどのように考えておられますか。

森田 科学者たちの挑戦によって、118番元素まで発見され、第7周期まで完成したことは、記念すべき出来事だと思います。さらに、その

一席を私たちが発見したニホニウムが占めたことを、大変誇りに思っています。

成功までに時間がかかる 超重元素の研究

酒井 私自身はこれまで、質量数が大きい超重元素に触れる機会がなかったため、森田先生の講演をお聞きして大変新鮮に感じました。

森田 超重元素は、2つの原子核を衝突させ、核融合を起こすことで合成させるのですが、元素は重くなればなるほど合成が難しくなります。

ニホニウムの場合、衝突して融合するのは100兆回衝突させて合成できるのはたった1回、という非常に小さな確率です。成功するまで長い時間がかかるため、待つことに自分を慣らすのが大変でしたね。

酒井 どのように慣らしていかれたのですか。

森田 既に発見されている元素を自分たちの装置で再現していきまし

[ニホニウム発見者] 森田 浩介 × [IUPAC理事] 酒井 健

国際周期表年2019とは

2019年が、ロシアの化学者ドミトリ・メンレーエフが、元素の周期律を発表して150周年に当たること、および、2016年11月28日に113番ニホニウムを含む118番までの4つの元素名が確定し、周期表の第7周期までが完成したことを記念して、ユネスコと国連が「国際周期表年2019 (IYPT2019; International Year of the Periodic Table of Chemical Elements 2019)」を制定。さらに、元素の質量や元素名を決定してきた国際純正応用化学連合 (IUPAC) が設立から100周年を迎えることもあわせて、世界各国で記念事業が開催されています。日本国内でもさまざまなイベントが開催されており、その一つ、周期表の魅力を伝える特別展が、9月11～16日まで九州大学でも開催されました。



特別展の様子

た。1日に5個くらい合成できる108番元素から始めて、次は1カ月に2〜3個できる110番元素、次は1カ月に1個できる111番元素といった具合に少しずつ難しい実験に挑戦していったのです。正しい方法でやっていたら必ず結果は出ます。徐々に難易度の高い実験に挑戦していき、正しい結果を出し続けることで自分たちが行っている方法は間違いないと自信がついてきて、希望をもって待つことができました。

酒井 現在は、新元素に向けた研究を進めていらつしやるそうですね。

森田 はい。第8周期の一番最初の元素となる119番元素の研究を進めています。

酒井 ぶつける元素はどのようにして決められるのですか。

森田 衝突の際の反発力を抑えらるので、原子番号が大きな元素と小さい元素の組み合わせが好まれます。ニホニウムは原子番号83番元素

のビスマスに原子番号30番の亜鉛をぶつけたのですが、今はビスマスより重たい96番元素、キュリウムを

THE PERIODIC TABLE OF THE ELEMENTS																				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18			
1 H	2 He												3 B	4 C	5 N	6 O	7 F	8 Ne		
3 Li	4 Be												11 Na	12 Mg	13 Al	14 Si	15 P	16 S	17 Cl	18 Ar
19 K	20 Ca	21 Sc	22 Ti	23 V	24 Cr	25 Mn	26 Fe	27 Co	28 Ni	29 Cu	30 Zn	31 Ga	32 Ge	33 As	34 Se	35 Br	36 Kr			
37 Rb	38 Sr	39 Y	40 Zr	41 Nb	42 Mo	43 Tc	44 Ru	45 Rh	46 Pd	47 Ag	48 Cd	49 In	50 Sn	51 Sb	52 Te	53 I	54 Xe			
55 Cs	56 Ba	57 La	58 Ce	59 Pr	60 Nd	61 Pm	62 Sm	63 Eu	64 Gd	65 Tb	66 Dy	67 Ho	68 Er	69 Tm	70 Yb	71 Lu				
87 Fr	88 Ra	89 Ac	90 Th	91 Pa	92 U	93 Np	94 Pu	95 Am	96 Cm	97 Bk	98 Cf	99 Es	100 Fm	101 Md	102 No	103 Lr				

元素周期表



使っています。ただ購入するとどんなでもない金額になるので、アメリカの研究所と共同研究という形をとって進めています。以前、キュリウムをロシアから買ったことがありましたが、7ミリグラムで1億円もしましたからね。くしゃみをしたら飛ぶくらいの量で1億円ですよ。

酒井 それは凄いですね。

森田 でも、酒井先生が触媒の研究で使われている白金も高いでしょう。

酒井 キュリウムに比べれば安いですよ（笑）。白金は貴重だから触媒に使うなど言われますが、結構たくさんあるんですよ。毎年白金は金属会社が何トンも採掘していますから。

森田 指輪に使われているくらいですからね。

新元素の命名権は、 科学者へのご褒美

酒井 私はIUPACで新元素の名前を審査する機関に所属していま

す。最近ですと112番のコペルニシウム（Cn）のときは、最初に提案された名前と似た物質があったため差し戻されました。ニホニウムは問題なく認定されましたが、命名するにあたってご苦労はありませんでしたか。

森田 新元素の名前が決定したら、日本語に字訳して日本語名（日本語の読み方）を決めますが、「ニホニウム」にすると、それがそのまま日本語名になってしまうのではないかとずいぶん悩みました。

酒井 英語名と記号はIUPACで決めますが、日本語名は日本化学会が決めることになっていますからね。どのように対応されたのですか。

森田 化学会に相談して、発表のタイミングを合わせることにしました。ですから、IUPACの発表とほぼ同時に化学会からも日本語名が発表されたはずですよ。

酒井 ニホニウムという名前は、どのような経緯で決まったのですか。

森田 発見した科学者にとって大きなご褒美です。共同研究者にも命名権がありますので、みんなで相談して決めました。IUPACが定めるガイドラインに抵触せず、明らかに日本で見られたことがわかる名前とすることで、すぐにニホニウムに決定しました。私は一つの国の名前をつけるのは良くないといった反対意見が出るのではないかと懸念してい

学生時代に築き上げた

ネットワークは、

いろいろな意味で私の研究に
意味深く貢献しています。

（酒井）

酒井 健 教授

早稲田大学大学院理工学研究科博士課程中退後、成蹊大学工学部工業化学科助手、東京理科大学理学部講師・助教授を経て2004年、九州大学大学院理学研究院化学部門教授就任。カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I2CNER)WPI主任研究者兼任。光エネルギー変換分子デバイス研究部門九州大学分子システム科学センター(CMS)教授を兼任。日本学術会議連携会員。国際純正応用化学連合(IUPAC)理事。



ましたが、無事に認定されました。

元素一つひとつにも ヒストリーがある

酒井 近年、超重要元素が注目されていますが、私は軽元素にも目を向けてほしいと思っています。先人の化学者たちが元素を取り出し、元素名を付け、その性質を研究してきたことが科学の発展につながっています。そうした歴史を深く学ぶことはありませんからね。

森田 そうですね。私は元素の中ではフッ素が好きなのですが、フッ素は毒性があるため、発見されるまでに何人もの化学者が亡くなっています。激しい性質の元素ですが有用性も高く、現在は美容整形やレーシックの手術に使われるエキシマレーザーを作る重要な物質として、科学的にも工業的にも応用されています。それぞれの元素にヒストリーがありますから、歴史的観点から勉強するのもおもしろいでしょうね。酒井先生のお好みの元素は何ですか。

酒井 たまたま卒業研究に配属された研究室が白金錯体の研究をやっている、それ以来、白金の魅力に取りつかれています。

森田 白金は、抗がん剤にも使われていますよね。

酒井 はい。白金は結合するとなかなか外れない性質があるため、がん細胞に結合するとがん細胞が増殖できないう状態になるんです。それで、がん細胞を小さくする薬として使わ

れています。この薬で完治した人もたくさんいます。また白金は、触媒としてもベストで、燃料電池の触媒に使われています。白金の研究に携わって30年を超えましたが、白金を自由に使える環境で研究してこれたのはある意味幸運であったと思っています。

自由な発想と貴い志をもって 自分の道を進んでほしい

森田 酒井先生が白金の魅力に取りつかれたように、研究者はおもしろいと思うものを見つけたことが大事ですよ。それに出会えさえすれば、後はひたすら追求すればいい。

そのためにも学生時代は、幅広いいろんなことを勉強することが大事だと思います。

酒井 森田先生の学生時代はいかがでしたか。

森田 朝から晩まで実験でした。九州大学の実験核物理の研究室でしたが、ひたすら実験装置や工作装置を作っていました。旋盤やプライス、

自由な発想を身につけるには、 自分の頭で考える力を 身に付けることが 大切だと思います。(森田)

森田 浩介 教授

九州大学大学院理学研究科物理学専攻博士後期課程満期退学後、理化学研究所流動研究員、サイクロトロン研究室研究員補に就任。研究員、先任研究員、准主任研究員を経て、2013年、九州大学大学院理学研究院教授就任、理化学研究所超重要元素研究グループ・グループディレクター兼務。2004年、2005年、2012年と3回、新元素113番元素の合成に成功し、国際純正・応用科学連合(IUPAC)にて正式認定、2015年命名権を獲得。

ら助手のような役割を任せられていたことで、リーダーシップも育まれたと思います。

森田 学生には自由な発想でいろんなことに挑戦してほしいですね。自由な発想を身につけるには、酒井先生が言われるように、自分の頭で考える力を身に付けることが大切だと思います。いずれそれが、自分の研究に活かせるようになりますから。それと、九州大学の学生はもともと自信を持っていると思いますよ。謙遜する必要はありません。胸を張って自分の道を進んでほしいですね。

酒井 最近では、会社に就職すれば人生が約束されると思っている学生が増えています。自己利益ではなく、社会のために研究をするといった貴い志を持った学生が増えてほしいと思います。九州大学は移転して研究環境が非常によくなっていますから、ぜひ九州大学で研究者を目指してほしいですね。



特集

九大 CHEMISTRY

祝！ 周期律発見150周年

未知なる元素を求めて

銀ロウ付けなどありとあらゆることをやりました。物を作るのは好きなので、工作に熱中しているときは楽しかったですね。研究室が放任主義のところ、勉強については自分に必要なことを自分で学んでいくスタイルでした。

酒井 私は早稲田大学の出身ですが、実験がおもしろくて夢中になっていて、実験室に入り浸りの毎日でした。他の研究室の学生とも交流していて、学生時代から共同研究を盛んに行っていました。その頃の仲間とは未だに共同研究を行っています。学生時代に築き上げたネットワークは、いろいろな意味で私の研究に意味深く貢献しています。森田先生同様、私の研究室も放任主義でしたが、今振り返ると、これは人を育てる上で大事なファクターだと思っています。自分で考えて、自分の研究を立案し実行できるようにするからです。それから、学生の時

地球の果て、 南極の地で学んだ 支え合いの精神。

1956年に

第1次南極地域観測隊が派遣されて以来、
半世紀以上に渡って続く南極地域観測隊。

第60次南極地域観測隊の夏隊には、

本学の学生2名を含む3名が選ばれました。

今回は、その3名の皆さんが集まっていただき、

南極でのミッションや活動の様子、

現地での生活を体験して感じたことなどを

語り合っていました。

この鼎談は、2019年9月5日、
本学イースト大講義室1横の学生サロンで行われました。



はじめは、
未知なる世界への探究心

北野 第60次南極地域観測隊の夏隊に、本学から3人も参加できたことは光栄なことです。少し時間が経ちましたが、本日は南極での体験について語り合いたいと思います。最初に、2人が観測隊に参加することになった経緯を教えてくださいませんか。

堤 大学3年生の時に、現在の担当教員である東野伸一郎先生から「南極に興味がないか」と聞かれたのがきっかけです。南極という未知の世界にはもともと興味があったので、4年生で東野先生の研究室に入り、観測機械等の勉強をして、幸運にも

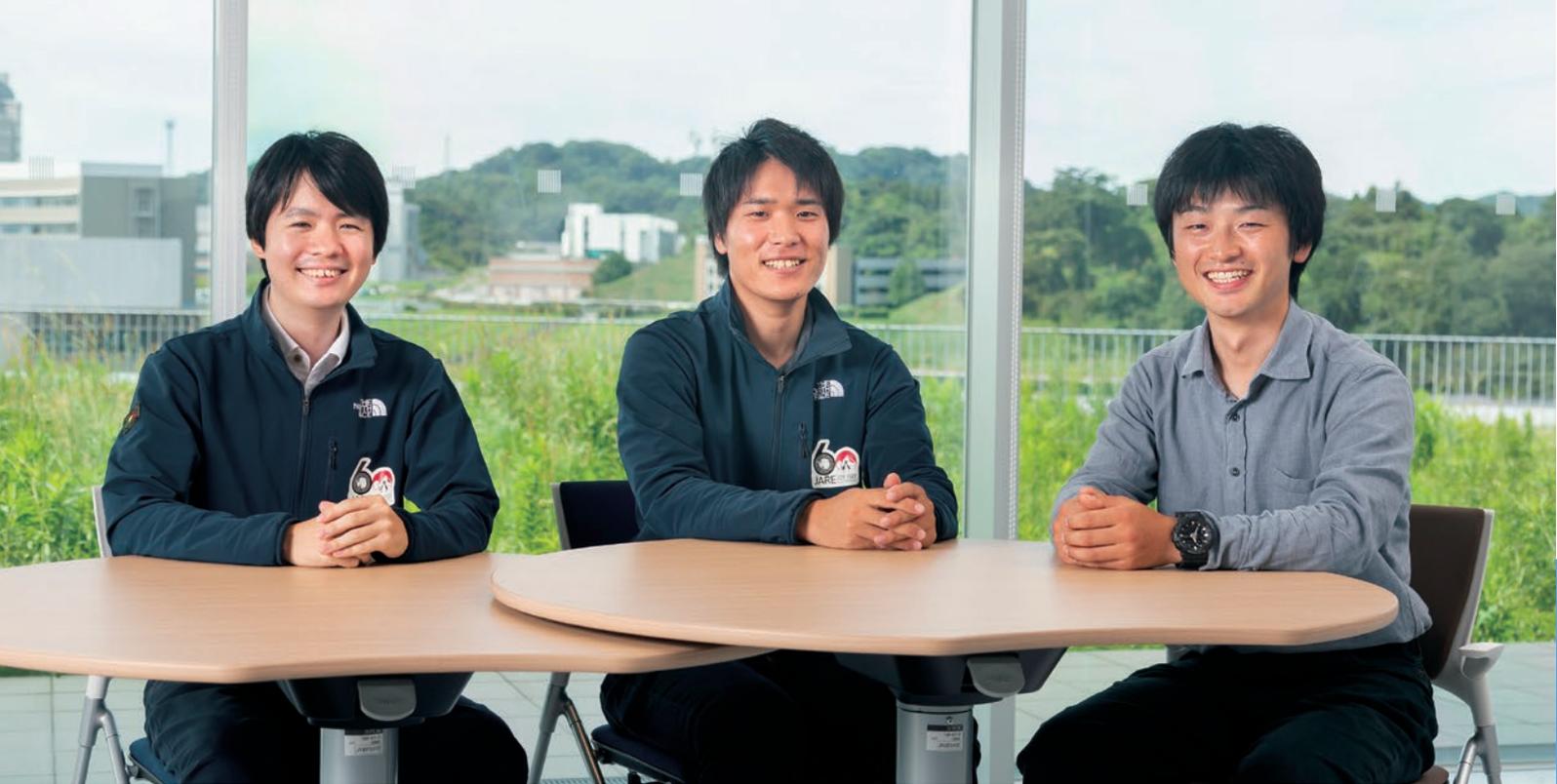
修士1年で観測隊に参加することができました。

村松 僕の場合は、所属する研究室が過去に数名の観測隊員を出していて、そうしたつながりから当研究室に打診があり、僕に声がかかりました。いずれは南極に行ってみたくて思っていました。こんなに早く行けるとは思っていなかったので、先生からお話があったときは驚きました。

北野 私は第58次南極地域観測隊にも参加し、2回目の参加でした。私も2人と同じようにもともと南極に興味があり、南極研究で有名な小山内康人教授の研究室を選びました。研究している岩石が南極の岩石と深く関わっており、今回その調査のために南極へ派遣されました。ところで、2人はどんなミッションを持って観測隊に参加したのですか。

堤 僕の研究室は、南極で大気観測に用いる無人の航空機 UAV (Unmanned Aerial Vehicle) の開発を進めています。その中で僕のミッションは、実際に南極で機体を飛ばし、高度が高い場所での飛行機の特性を研究する上で必要なデータを取得していただくことでした。

村松 僕は地球物理チームの観測メンバーとして参加しました。大学院では、「インフラサウンド」という人が聞きとれない音域の音波を使って火山の調査をしているのですが、南極でもインフラサウンドを使った研究が行われており、そのために使用



九州大学 大学院 理学府
地球惑星科学専攻 修士1年

村松 弾 さん

修士2年生のときに、第60次南極地域観測隊夏隊に参加。大学院では、音波(インフラサウンド)を使って火山に関する研究を行っている。

九州大学 大学院 工学府
航空宇宙工学専攻 修士2年

堤 雅貴 さん

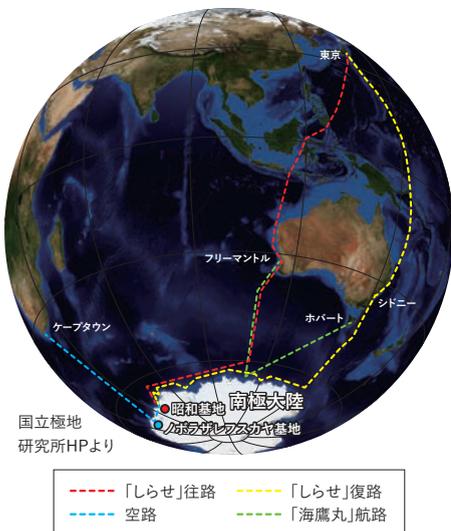
修士1年生のときに、第60次南極地域観測隊夏隊に参加。大学院では、飛行機の運動の特性や制御に関する研究を行っている。

九州大学 大学院
比較社会文化研究院

北野 一平 特任助教

第58次南極地域観測隊夏隊に続いて2回目の参加。研究院では、スリランカの変成岩に関する研究を行っている。

第60次隊の行動経路と活動地域



CloseUp Information

南極地域観測隊とは

南極大陸における中層～高層大気・気象・雪氷・地質・生物学の観測および南大洋の海洋観測を行うために、日本が南極に派遣する調査隊。昭和基地をベースに夏の間だけ観測する夏隊と、1年4ヶ月間に渡って南極で観測し続ける越冬隊で編成。国立極地研究所の研究者や職員の他、民間企業の社員や、大学の研究者、院生などが隊員または同行者として参加。第60次南極地域観測隊(隊長:堤雅基)は、越冬隊員31名、夏隊員40名、同行者29名の100名。平成30年11月25日に日本を出发。豪州フリーマントルから南極観測船「しらせ」に乗船し、昭和基地へ。夏隊は平成31年3月21日に帰国。



ポツンヌーテンでの登攀・地質調査の様子

する機械を設置したり、メンテナンスをしたり、観測のサポートが主なミッションでした。

期待と不安に 胸を膨らませながら南極へ

北野 フリーマントルから南極まで約3週間は、南極観測船「しらせ」で移動しましたが、船上生活の中で印象的なことはありましたか。

60次のときは快晴だったためあまり寒くなかったのですが、58次のときは曇天で風も強かったので、とても寒かったです。

村松 耐寒訓練です。恒例行事とのことですが、海パン一枚になって、水を掛けられながら甲板を歩くのは貴重な体験でしたね(笑)。

堤 ペンギンも見っていましたね。

村松 厳しい訓練でしたが良い思い出です。その他に県人会に参加したことも印象に残っています。僕と堤くんは大分県出身ですが、船中で大分県人会が結成され、大分出身の海上自衛隊や観測隊の方々と交流で



きました。普段関わる機会のない人たちの話を聞いて面白かったです。

北野 南極に着いてからは、それぞれのグループに分かれて昭和基地や観測拠点での活動になりましたが、堤くんはS17航空拠点でしたよね。

堤 はい。S17は昭和基地よりも内陸にあり、見渡す限り雪面でした。10メートル位の風が吹くと、地吹雪が

出始めて視界が悪くなるんです。そんなときは小屋の中にずっといるんですが、ちょっと外に出るだけでも帰れなくなりそうなきがあって、怖かったですね。

北野 南極は油断できませんよね。村松くんは昭和基地を拠点に活動していましたよね。

村松 はい。僕は昭和基地からヘリコプターで観測地点まで行き、そこで2〜3泊して観測機械のメンテナンスを行い、終わったら昭和基地に戻って次の観測の準備をするというサイクルで活動をしていました。僕が所属していたグループは、4箇所ほどの観測拠点に行っていました。100km位離れた拠点もあり、ヘリ

コプターで約40分かけて移動することもありました。

北野 南極での作業に不安などはありませんでしたか。

堤 研究室からの参加は僕だけだったので、UAVを一人で整備して飛ばすことができるのか、プレッシャーはありました。

村松 僕も機械をちゃんと使いこなせるか不安でしたね。でも、周りの人たちと協力しながら、なんとか役割を果たすことができました。

堤 僕も無事にUAVを飛ばすことができ、研究に役立つデータを持ち帰ることができました。

沿岸沿いと内陸では表情を変える南極

北野 南極に行く前に想像していたことと、ギャップを感じたことはありませんでしたか。

村松 南極と言えば水と思っていたのですが、僕が拠点とした場所は岩だらけで水が全くありませんでした。わざとそういう場所を選んで観測機器を置いているんですが、その岩山のスケールが大きいことに驚きました。

北野 まるで火星にいるかのようでした。南極はドーム型の大陸で、内陸に行くほど標高が高く、寒いのですが、沿岸地域は急激に標高が下がり、海からも暖かい空気が来るので雪が溶けて岩場が露出している場所があります。岩山の高さは300〜400m位はあって植物がほとんど生えていないので、岩の形や地層の

地球の果て、南極の地で学んだ支え合いの精神。

特集2
第60次南極地域観測隊
特別鼎談

CloseUp! 九大

模様などが遠目でもはっきり見えません。私は南極の暑さが一番のギャップでしたね。太陽が照って風がなければプラス5℃位になるので、防寒服を着込んでいると暑くてほとんど上着を着ないこともありました。

堤 内陸と沿岸では全然違いますね。内陸にあるS17は、標高が約6000mあたり一面雪面でしたので、ブリザードが来るとすぐに雪で埋まってしまう、常に雪かきをしています。雪上車に乗っての除雪作業は楽しかったですね。ギャップと言えば、思っていた以上に食事がおいしかったこと。日本にいるときよりも良いものを食べていた気がします(笑)。

質の良い材料が揃っていたし、IHコンロや冷蔵庫もあって食事には困りませんでした。

村松 確かに南極では食事が一番の楽しみでしたね。しらせや昭和基地ではシェフの料理が食べられたし、僕も食事には大満足でした。

支え合って生活する中で生まれた感謝の心

北野 南極観測隊には、気象庁や国土交通省など、さまざまな人たちが

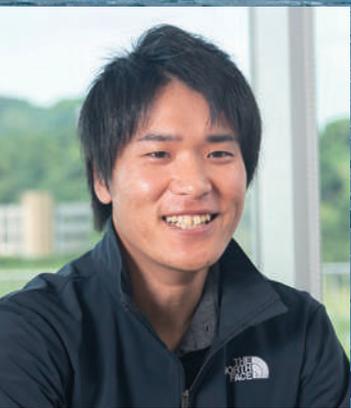


参加されているので、各々がどんな目的で観測隊に参加しているのかを聞くだけでもおもしろいですよね。

村松 はい。話を聞くだけでなく、プロフェッショナルな人たちの仕事を間近で見ることができて本当に良かったと思っています。厳しい環境の中で、数十人規模の組織をまとめるにはどうすれば良いかなど、リーダーのあり方も学ばせてもらいました。これは、研究を進める上でも大切なことなので、今後に活かしたいと思っています。

堤 観測隊では電気一つにしても発電機を管理する人が必要で、みんなで支え合って生活していたので、人に感謝する気持ちが生まれました。日本で生活していると電気や水が使えるのが当たり前でつい忘れがちですが、自分が社会や人に支えられて生きていることを改めて自覚しました。

村松 僕は、観測隊の隊長を始め、上の立場にいる人たちが、僕たちを人として対等に接してくれたことが嬉しかったです。極地では信頼関係がないと生活できませんよね。





1.地質隊とそびえ立つボツンヌーテン 2.帰路の「しらせ」船上より見えたオーロラ 3.南極地域に生息するアデリーペンギン
4.昭和基地にて、九大旗を持つ村松(左)と堤(右) 5.スカルプスネスでの地質調査の様子
6.南極の露岩域の1つ、ルンドボックスヘッタとインフラサウンド観測機器

CloseUp! Message

文部科学省
南極地域観測統合推進本部 委員
九州大学 副理事(共創学部担当)
共創学部 学部長
大学院比較社会文化研究院 教授
理学博士

小山内 康人



日本が国家事業としての南極観測を開始してから63年目を迎えました。国立極地研究所を中心に多くの大学や研究機関が参画する日本の南極観測は、いまや国際的な南極研究観測の中心的な役割を果たすだけでなく、最先端の観測態勢のもと、新たな科学の未来を切り開く段階に来ています。九州大学では、第9期南極観測6カ年計画が開始された2016年(第58次観測隊)以降も、今回お話しいただいた第60次隊の3名を含み毎年気鋭の隊員を送り出し、日本の南極研究観測を牽引しています。今後は文理融合型の南極観測も想定されており、ますます魅力的な日本南極地域観測隊が組織されます。地球創生期からの手つかずの自然環境を相手に、多くの九大の教職員・大学院生に活躍して欲しいと願っています。

北野 そうですね。助けが必要なきに皆が「俺がやるよ」とすぐに言ってくれる環境は、コミュニケーションにとって大切だと思います。私は、コミュニケーションをより良くするために必要なことは普段の何気ない挨拶だと思っています。それから感謝をすること。自分が助けてもらったときに、素直に感謝の気持ちを伝えることも大切だと思います。

専門性を突き詰めて、チャンスをつかんでほしい

北野 最後に、南極地域観測隊に参加したいと思っている人たちにメッセージをお願いします。

村松 チャンスはためらっていると逃げていくので、チャンスが来たらすぐに掴んでほしいと思います。実は、僕に南極行きの話があったのは

修士2年で卒業の年だったので、進学のことも少し悩みました。でも、このチャンスを逃したらいつ行けるかわからない!と思い、参加を決めました。その決断は間違っていないと思います。チャンスが来たらぜひチャレンジしてほしいですね。

堤 僕も同じです。南極では気が抜けないし、大変なこともあります。それ以上に得られるものがあると思います。

北野 南極観測隊に参加するには、専門性もとても大事です。まずは自分がやりたいことを見つけ、それとことん突き詰めること。そして、どうすればチャンスに巡り会えるのかを考え、常にアンテナを張って行動を起こすことが大事だと思います。目標を持って努力をすれば、きっとチャンスは巡ってきます。



記者会見の様子(谷研究院長)

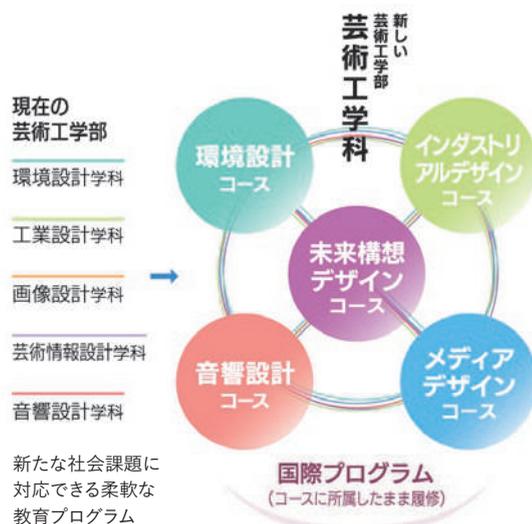
九州大学芸術工学部は、日本初のデザイン教育の拠点として昭和43年に誕生して以来(当時は九州芸術工科大学)、デザインの分野をリードし続ける教育研究機関として発展し、昨年、50年を迎えました。そして、令和2年4月には現行の5学科を1学科5コースに改組し、新しいデザイン教育を開始します。

拡大するデザインの領域に対応できる組織へ

芸術工学部での教育研究の中心は「デザイン」です。50年前に芸術工学部でデザイン教育が始まったときは、色や形など、モノのデザインが行われていました。近年ではそのデザイン

芸術工学部が、来春、大きく変わる！
世界で拡大する
デザインへの期待に
応えるため、
5学科を1学科に

芸術工学部 谷正和 たにまさかず
芸術工学部 鶴野 玲治 つるのれいじ



研究院長から一言

芸工大からの50年のレガシーをしっかり継承しつつ、デザインの教育研究の最先端であり続けることを目的とした改組です。芸術工学の裾野を広げ、デザインの新しい領域に挑戦します。より多くの優れた学生にご入学いただき、新しい教育を通して高度デザイン人材を育成することで、豊かな社会の形成に貢献できるように活動していきます。

問い合わせ先

芸術工学部事務部
総務課/学務課
TEL: 092-553-4442/4587

の対象が、ユーザーエクスペリエンス(UX)やサービス、ビジネスモデル、社会システムなどの仕組みへと広がっています。

さらに、現状の課題に対する解決だけでなく、将来のあり得る、また、そうありたい社会のビジョン、「未来はこうもあり得るのではなか」という「問い」の創造までもデザイン概念が含むようになってきました。

そこで、時代とともにモノからコトへ、さらにビジョンへと広がっていくデザインの領域に対応できる人材を育成するため、これまで築いてきた専門性を維持しつつ、新しい対象や分野融合的なデザインにも

軟に対応できる組織に変えていくこととしました。

新しい芸術工学部の特徴

今回の改組では、教育課程を大きく見直し、現行の5学科を1学科に統合して5コースを設けます。これまでの芸術工学で培ってきたデザインの専門性を継承する「環境設計コース」「インダストリアルデザインコース」「メディアデザインコース」「音響設計コース」の4コースと、先端的なデザインの領域をカバーする「未来構想デザインコース」を設置し、ひとつの学科として、拡大流動化するデザイン領域に総合的に対応する構成としました。



記者会見の様子(左から磯辺教授、花田所長)

世界の現状は？ 優先すべき取り組みは？ 海洋プラスチック汚染 研究で世界をリードする 磯辺篤彦教授 最新報告

応用力学研究所教授

磯辺 篤彦 いそべあつひこ

応用力学研究所長

花田 和明 はなだかずあき

世界の海洋を漂流するプラスチックごみの総重量は25万トン程度とされており、我が国では、毎年、年間廃棄量の1〜2%に当たる14万トンの廃棄プラスチックが環境中に流出すると試算されており、海洋に漏れ出すのがその一部であるにせよ、この量は決して無視できる量ではありません。99%という、既に非常に高い我が国の廃棄プラスチック回収率を100%に上げることは非常に難しく、現在の技術においてプラスチックに代わる新素材への転換もすぐには困難であるならば、プラスチックごみを削減するためにはプラスチック(まずは使い捨て)そのものの使用量を削減するよりほかに当面の方策はありません。どの国もいざれ我が国同様に回収率の向上は頭打ちになり、プラスチック使用量の削減は避けられなくなるでしょう。

一方で、実際のプラスチック使用量削減にあたっては、プラスチックは富裕層の贅沢品ではなく、安価で丈夫、そして清潔であったからこそ広く世界に普及したことは留意すべきです。抽速にプ

ラスチック使用を規制してしまうと、高コストで不衛生な日用品の利用を経済的弱者に強いてしまうこととなり、持続的なプラスチック削減など不可能となることでしよう。プラスチックの使用削減に先進国は耐えられても、中進国・発展途上国にとって、プラスチックを使わないリスクもまた大きいかもしれません。今後、各国のプラスチック削減に至る合意を形成するためには、研究者や行政が参加する国際機関において、最新の科学的知見を基盤に持続的なプラスチック削減へ向けた行動計画が策定されるべきでしょう。今回のG20は、発展途上国・中進国を巻き込んだ合意形成の第一歩であったと

評価できます。

私たちのグループでは、本年から6年間にわたってJSTとJICAの助成を受け、東南アジアを舞台に、科学的知見を基盤にした持続的なプラスチックの削減計画策定に取り組んでいきます。この取組は経済発展著しい発展途上国における合意形成への挑戦です。



プラスチックごみが散乱するタイの海岸

磯辺先生から一言

世界の海洋プラスチックごみの約90%は、全世界のわずか0.3%の河川から流出すると言われています。その流出源で大きなウェイトを占める、東南アジアでの海洋プラスチック汚染の監視と予測、そして廃棄プラスチックの削減につながるプロジェクトとなるよう、全力を尽くします。

問い合わせ先

応用力学研究所 附属
大気海洋環境研究センター
TEL: 092-583-7726

科学者をめざす九州・山口の高校1年生集まれ!

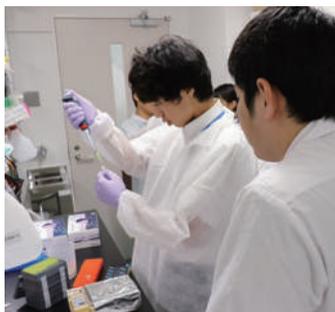
未来の科学者を育てる

九大プロジェクト

今年度も開講!

副理事

副島 雄児 そえじま ゆうじ



QFCプライマリーでの実験の様子



リサーチ生による研究発表の様子



記者会見の様子(左から久保総長、副島副理事)

「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)」は、将来グローバルに活躍し得る次世代の傑出した科学技術人材を育成するため、卓越した意欲・能力を有する高校生を選抜し、九州大学の幅広い理工系学部・大学院などの研究室において年間を通じ、高度で実践的な教育を行い、その意欲・知識・技能をさらに伸ばしていくことを目的とする高校生対象の教育プロジェクトです。

生徒の興味関心に応じて、現代社会における諸問題に「科学」でのアプローチと課題解決を試みる4つのコース(Science & Materials「科学と物質」Energy & Earth「エネルギーと地球環境」Bio & Life「生物と生命」Design & Media「デザインとメディア」)を設けています。

今年度の募集では、九州・山口県の高校1年生266名から応募があり、選抜試験を経て、62名の受講生が決定しました。

令和元年7月20日(土)、伊都キャンパスのセンター1号館で令和元年度開講式・合同研究進捗状況発表会を開催しました。まず、本学名誉教

授の伊東信教授が「科学を職業とすること...君たちの未来」と題する基調講演を行い、続いて2年目の受講生(リサーチ生)19名が英語で各自の研究の進捗状況を発表しました。新たに迎えた62名の受講生たちは、未来の自分を見据えて真剣なまなざしで参加し、中には活発に質問する生徒もいました。

新受講生(QFCプライマリー)では、7月~11月の5か月の間に、所属コースの講義や実験、共通プログラム(英語による国際交流)を受講し、科学的思考を学び、自分が最

も研究したい分野を探していきます。

その後は、12月にあるQFCリサーチへの選抜試験を経て、約20名が12か月間の個別の研究活動や共通プログラム(研究倫理や英語プレゼンテーション能力育成)、海外研修などを行い、学会発表や論文執筆に挑みます。

QFC-SPでは、このようなプログラムを通して、新しいタイプの科学者を目指す意欲と熱意がある高校生の中から、より多くの未来の科学者が誕生することを願っています。

副島副理事から一言

「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)」は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の支援事業です。九州大学は2014年に初回の、さらに2018年に2回目の採択を受けました。QFC-SPには、将来の科学者をめざす志の高い高校生が参加し、九州大学の研究活動を行っています。九州・山口から世界に羽ばたく「未来の科学者」の誕生を期待し、九州大学は高校生の活動を応援しています。

九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)オフィス(学務部学務企画課)
TEL: 092-802-5811
ホームページ <https://qfcsp.kyushu-u.ac.jp>

問い合わせ先

孫正義育英財団にも合格

「ロボジョ」古澤美典さん、世界へ再び挑戦!!

統合新領域学府 修士2年
古澤 美典 ふるさわみのり



令和元年8月に開催されたRoboMaster 2019の様子



記者会見の様子(古澤さん)

RoboMaster 2020

世界最高峰レベルのロボットバトル「RoboMaster」の世界大会に、2度目の日本代表選手として出場させていただきました。RoboMasterは、自作のロボット7台 vs 7台で弾を打ち合い、基地を攻め落とす方が勝つというルールで、操縦者はPC(マウスやキーボード等)を使ってロボットを1人称視点で操縦します。さらに、ただ攻撃すればいいものでもなく、回復や防衛、レスキュー、弾の補給、さらにドローンによる空中からの偵察など、戦略性にも富んだ競技となっています。「エンジニアは世界一かっこいい!」という言葉掲げるドローン世界NO.1(DJI)が主催している大会だけあって、賞金も諸々合わせると1000万円以上にもなる、まさに次世代のロボット競技です。

今回、唯一の日本人チーム「FUKUOKA NIWAKA」の選手として、世界の舞台で健闘し、海外の選手からも注目されるロボットを披露できたことを嬉しく思います。残念ながら国際戦では強豪校に敗れ優勝を果たす

ことはできませんでしたが、1年目よりも遥かに多くの学びがありました。驚くべきことは、1年間で海外チームのレベルが桁違いに上がっていたことです。我々のロボットも昨年より性能が良く、強いものではありましたが、それをもつても勝てないほどの圧倒的な強さ、何よりも成長スピードを感じさせられました。

私たちの「RoboMaster 2020」は既に始まっています。この悔しさを闘争心や向上心に昇華し、結果へ繋げていけるよう精進いたしますので、ぜひ今後とも応援いただければ幸いです。

孫正義育英財団について
今回、孫正義育英財団の3期生として合格いたしました。世界で42名の合格者のうちの1人ということになります。これは「高い志」と「異能」を持った若者に自らの才能を開花できる環境を提供し、人類の未来に貢献することを目的とした財団で、新しい価値観やテクノロジーに触れる環境や、様々な志を持つ仲間との交流、必要に応じて夢を実現するための支援金の提供などを行うものです。これらの支援や環境を活かし、これからも「ロボジョ」として、また、ひとりの九大生として世界で活躍できるよう頑張ります!



古澤さんからひとこと

この1年間は、特に私の進路や人生に大きな衝撃と刺激を与えてくれる出来事がたくさんありました。これも、九州大学の手厚い支援や、関わってくださる皆様のお力によるものも大きく、本当に感謝しています。今まで以上に世界へ飛び立てるチャンスも増え、自分自身もワクワクしています!

問い合わせ先 古澤 美典
E-mail: 21cpnoim@gmail.com

TOPICS

01

「オープンキャンパス2019」を開催

本学の「オープンキャンパス2019」を令和元年8月3日(土)から5日(月)にかけて、伊都、大橋、病院の各キャンパスで開催しました。猛暑の中での開催となりましたが、3日間で合計1万8,000人を越す来場がありました。

開催期間中、多くの高校生らが志望する学部の説明会場に詰めかけ、学部・学科の紹介や模擬講義等に熱心に耳を傾けていました。また、積極的に研究室や実験室を訪問する姿などがあちこちで見られました。

3日(土)の伊都キャンパスのイーストゾーンでは文系学部(文学部、教育学

部、法学部、経済学部)が、また、4日(日)の伊都キャンパスのウエストゾーンでは農学部が、平成30年9月の箱崎キャンパスからの完全移転後初めてのオープンキャンパスを実施し、大勢の参加者を集めていました。

その他、附属図書館や総合研究博物館の標本等の公開、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I²CNER)の実験室体験、伊都キャンパス学生寄宿舍の見学ツアー、在学生による相談コーナー、サークル紹

介など様々な企画も実施し、来場者の真剣な様子が伺える熱気に満ちた3日間となりました。



実習の様子(医学部保健学科)

TOPICS

02

水素エネルギー国際研究センター「環境省地域ESD拠点」登録式典および看板掲揚式を開催

令和元年7月3日(水)、伊都キャンパスで、水素エネルギー国際研究センター「環境省地域ESD拠点」登録式典および看板掲揚式を開催致しました。

本式典は、水素エネルギー国際研究センターが「地域ESD活動推進拠点」(地域ESD拠点)に登録されたことを受け開催されたもので、原田義昭環境大臣(当時)をはじめ環境省の関係者の皆様にもご出席頂きました。

本学は、脱炭素社会実現へのキーテクノロジーである「水素エネルギー」の研究教育に集中的に取り組んでいます。福岡県では、朝倉市や東峰村が豪雨災害に見舞われ甚大な被害が発生しました。このような世界的な気候変動によって、自然災害が多発する根本原因である「地球温暖化」を防止するために、環境省所管の「持続可能な開発のための教育/Education for Sustainable Development」の拠点、「地域ESD拠点」に申請し、登録が認められました。

式典では、久保総長から「原田環境大

臣(当時)、そして福岡県の被災地の皆様方の熱い思いが詰まった看板を掲げられますことを、本当にうれしく思います。被災地の皆様方の思いを胸に、脱炭素社会実現に向けて、九州大学は先頭に立って、世界を変えるべく、努力してまいります。」との挨拶がありました。原田環境大臣(当時)からは「今回の登録を機に、九州大学と環境省の連携がさらに深まりますとともに、九州地方におけるESDの更なる推進、ひいては『地域循環共生圏』の創造に向けた大きな動きへとつながっていくことを大いに期待しております。本日は、被災した朝倉・東峰地域の檜を使った看板を持ってまいりました。環境大臣直筆の看板は、環境省発足以降初めてのもので、気候変動対策に向け、引き続き挑戦していくという私の決意を込めたものです。九州大学の皆様におかれても、挑戦的な技術開発や教育を継続して頂くことを期

待しております。」とのご挨拶を頂きました。

その後、水素エネルギー国際研究センター水素社会ショールームの入口で、原田環境大臣(当時)と久保総長との協同により「環境省」および「地域ESD活動推進センター」の看板掛けが行われました。

本式典には、井上和秀理事・副学長、山縣由美子理事をはじめとする学内外の約50名が参加し、盛大に行われました。

今回の登録を受け、社会受容性向上や国連SDGsのさらなる普及啓発に努めてまいります。



九州大学および環境省関係者一同

TOPICS
03

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構キックオフシンポジウム ～アジア・オセアニアから世界を拓くSDGs そしてその先へ～を開催

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構では、令和元年7月9日(火)から12日(金)まで、キックオフイベントを開催し、10日(水)には「アジア・オセアニアから世界を拓くSDGs そして、その先へ」と題したキックオフシンポジウムを、稲盛財団記念館(本学伊都キャンパス内)で開催しました。

本シンポジウムはアジア・オセアニア研究教育機構として初めてのイベントとなり、これを機に学内外の方々に広く当機構を知っていただき、国際的かつ人文社会科学系・理工系・生命系などの学問分野の枠を超えた交流を行い、学際的・融合的な研究教育活動をさらに推進することを目的としています。

シンポジウムは久保千春機構長(本学

総長)による挨拶で開会し、来賓としてお越しいただいた三輪善英氏(文部科学省国際課国際戦略企画室長)に祝辞をいただきました。続いて、荒殿誠副機構長(本学理事・副学長)から機構の紹介を、また各クラスター長からそれぞれのクラスターの紹介を行いました。

さらに、各クラスターに関連する研究

テーマで活動されるアジア・オセアニア各国の研究者からの招待講演も行われ、幅広いグローバルな知見を得る場となりました。シンポジウムと並行して行われたポスター展示では、学問分野の垣根を超えた活発な議論や交流が行われました。約160名の参加があり、盛会のうちに幕を閉じました。



当機構メンバー・招待講演者・参加者での記念撮影



会場の様子

TOPICS
04

九州大学アンカラオフィス開所式および アンカラ大学との大学間交流協定調印式を開催

令和元年6月21日(金)に、トルコの首都アンカラ市内において「九州大学アンカラオフィス」開所式を開催しました。本学は、平成30年度から「日本留学海外拠点連携推進事業」の中東・北アフリカ拠点の実施大学に選定され、アンカラオフィスは、中東・北アフリカから日本の大学への留学生増加を目指すJ-MENA事業の現地拠点として、開設されました。アンカラオフィスには、留学コーディネーターが常駐し、九州大学のみならず日本留学に関する情報発信やリクルーティング活動を行います。

開所式は、久保総長による開会挨拶に始まり、宮島在トルコ日本国大使館特命全権大使による祝辞、本学渡邊副理事によるJ-MENA事業の紹介、本事業の協力大学である東京大学、新潟大学による大学紹介、日本学生支援機構による日本留学奨学金

の紹介が行われました。トルコ国民教育省をはじめ、トルコ国内の大学・高等教育機関からも関係者が多数出席し、J-MENA事業に対する関心の高さが伺えました。

本学アンカラオフィスの開所記念式典の後、アンカラ大学に場所を移し、本学とアンカラ大学との大学間学術交流協定および学生交流協定の調印式が行われました。本学から久保総長、渡邊副理事らが出席し、アンカラ大学からはErkan İBiŞ学長、Sibel SÜZEN教授(国際交流コーディネーター)らが出席されました。

アンカラ大学は、初代トルコ大統領アタチュルクの指示により1925年に設立された法学部などを統合して、1946年に設立された伝統ある総合大学で、日本語学科が開講されており、日本語学習者が多いことも特徴としてあげられます。

トルコの大学と大学間交流協定を締結するのは本学として初めてであり、今後アンカラオフィスと連携してトルコへの学生派遣・トルコからの留学生受入を促進します。



九州大学アンカラオフィス開所式参加者



アンカラ大学Erkan İBiŞ学長(左)、久保総長(右)

TOPICS 05

ヤングアメリカンズ九州大学スペシャルを開催

令和元年6月22日(土)から23日(日)の2日間、本学伊都キャンパスの椎木講堂で「ヤングアメリカンズ ジャパンツアー 2019夏 九州大学スペシャル」が、本学とNPO法人じぶん未来クラブの共催で開催されました。

ヤングアメリカンズは、アメリカから来日した約40人のキャストが、日本各地の会場で小・中学生などの参加者のために歌とダンスのワークショップを行い、最終日に1時間のショーを披露するものです。数日間と限られた時間の中での活動は、参加者が「自分を信じて挑戦すること、お互いの違いを認め合って協力すること」の大切さを体験することを一番の目的とされています。

本学は、このプログラムの教育的価値や

地域社会貢献の観点から、昨年度より共催事業として位置づけて行っております。

今回のプログラムでは、福岡市や糸島市など福岡県内だけでなく、熊本・長崎・山口などの小中高校生220人に本学の学生や職員を加えた約240人が参加し、2日間のワークショップの中で多くの歌とダンスを教わりました。最終日の夕方には、ヤングアメリカンズのキャストと参加者全

員が出演するショーを作り上げ、ご家族や地域の方など600人を超える観客が見つめる中、一人一人が主役となる素晴らしいショーを披露しました。

ショー終了後には、2日間楽しい時間を過ごしたキャストと参加者が喜びを分かち合い、サインを貰ったり、抱き合ったり、別れを惜しんだりする姿があちこちで見受けられました。



全体ワークショップ



リハーサルの様子

TOPICS 06

学生と自民党国会議員団との意見交換会を実施

令和元年6月5日(水)、本学法学部の南野森教授ゼミ(憲法学演習)に、自由民主党「財政構造のあり方検討小委員会」に所属する国会議員団が来訪し、ゼミ生を中心とする法学部学生21名と、日本の財政をめぐる諸問題に関してディスカッションを行いました。来訪議員は、小淵優子衆議院議員(小委員長)、古川禎久衆議院議員(小委員長代行)、木原誠二衆議院議員(事務局長)、鬼木誠衆議院議員(事務局長代行)、佐藤啓参議院議員(事務局長代行)、古賀篤衆議院議員、本

田太郎衆議院議員の7名です。

当日のゼミは、まず木原議員から日本の財政構造の現状や問題・課題点についてのプレゼンテーションを受けたあと、学生が5人ずつ4つのチームに分かれ、各チームに1人の国会議員が加わり、少人数で意見交換を行い、最後に、各チームがそれぞれの議論内容を全員の前で報告するという流れで行いました。憲法ゼミの学生にとっては、必ずしも平素より関心をもってはいなかった財政問題につき、現役の国会議員と自由闊達に意見を交換

するという貴重な経験を得ることができ、今後の勉学へのモチベーションがさらに高まったものと思われます。

なお、議員団は、ゼミ来訪に先立ち久保総長とも面談し、椎木講堂や中央図書館などを見学しました。いずれの議員もイーストゾーンの最新かつ広大な施設に感銘を受けておられる様子でした。議員団との見学のあと、久保総長は意見交換会の部屋に移動し、学生たちに声をかけました。思いがけない総長の訪問に学生たちは喜んでいました。



ディスカッションの様子



参加した学生との集合写真



左から、木原誠二衆議院議員、古川禎久衆議院議員、南野森教授、久保千春総長、小淵優子衆議院議員、鬼木誠衆議院議員、古賀篤衆議院議員、本田太郎衆議院議員

受賞のお知らせ

ライマール・リヌスト賞

ドイツ政府が全額出資する国際的学術活動の支援機関アレクサンダー・フォン・フンボルト財団が、フリッツ・テイツェン財団と共同でドイツ国外の優れた研究者に授与する国際学術文化交流賞です。この賞は、ドイツ国外の優れた人文学および社会科学の研究者に対し、卓越した学問的成果に加え、ドイツと自国との二国の関係の継続的な発展に貢献してきたことを認めて、毎年最大2名に授与されるものです。

河野 俊行

法学研究院 主幹教授

欧州発明家賞

「欧州発明家賞」は、2006年に設立された賞で、技術的・社会的・経済発展に貢献した優れた発明に対して、欧州特許庁が毎年付与するものです。産業部門・研究部門・中小企業部門・非ヨーロッパ諸国部門・功労賞の5つの部門と、一般からの投票で決まる「Popular Prize(ポピュラープライズ)」で構成されています。

【非欧州諸国部門】

吉野 彰

九州大学グリーンテクノロジー研究教育センター訪問教授
旭化成株式会社 名誉フェロー
名城大学 大学院理工学研究科 教授
技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター理事長

今回の受賞は、我が国が世界に先駆けて市販化に成功したリチウムイオン電池に関する基本特許(EP2063435、EP2063436)の業績が認められたものです。

モンゴル科学アカデミー 名誉博士号

(Honorary doctor of
Mongolian Academy of Sciences)

モンゴル科学アカデミーが毎年、最大で3人の外国人研究者に授与する最高の栄誉です。選考は、モンゴル科学アカデミーに關係する研究分野の研究者を対象とし、同アカデミーの各研究所からの推薦に基づいて、モンゴル科学アカデミー本部に設置される選考委員会で行われるものです。

安福 規之

工学研究院 教授

第1回全日本大学生中国語 スピーチコンテスト決勝大会

日中青年の相互理解と友好交流を促進し、日本の大学における中国語教育の発展に寄与すると共に、日本人大学生に中国語の学力を競い合う舞台を提供することを趣旨として、日本人教授会議の主催、孔子学院総部の共催、中華人民共和国駐日本国大使館、日本国外務省の後援により開催されたコンテストです。

【二等賞】

山西 慶哉

文学部 2年

NHK学生ロボコン2019

NHKおよびNHKエンタープライズが主催し、1991年から日本全国の大学が参加するロボットコンテスト「NHK大学ロボコン」としてはじまりました。2015年より高等専門学校や大学も出場可能となり、「NHK学生ロボコン」と名称を改めました。書類選考、ビデオ審査を経て、選ばれた約20チームがアイディアとチームワークを駆使して競うものです。

【ベスト4】【デザイン賞】

九州大学ロボコンチーム

「KURT」

第8回福岡県屋外広告景観賞

平成23年度に福岡県が設立した賞で、美しい景観の創出を図るために、街並みや自然景観と調和した優れた屋外広告物を表彰するものです。

【最優秀賞】

九州大学銘板



学生スタッフが取材・執筆を担当する企画「躍動」。
タイトルは取材に協力した各サークルの代表者が書いています。個性あふれる手書き文字に、サークル活動への熱意を感じます。

女子ラクロス部

躍動

Move On!

動



**部活動を始めたきっかけは
何ですか。**

村上 先輩方が本気で何か物事に熱中している姿をカッコいいと思い、自分もこんな風に何かに本気で取り組みたいと思い、入部しました。

山本 新しいことがしたかったからです。高校の部活でやってきたテニスを活かせると思ったことと、先輩方がキラキラしているところに強く惹かれました。

簗田 活動の雰囲気や本気で好きで、皆で真剣に頑張れることに憧れ、自分もここで頑張りたいと思うたからです。

**九大女子ラクロス部の
魅力を教えてください。**

村上 同じ目標に向かって頑張る人たちが集まっているところ
です。ラクロスは発展途上のス

ポーツなので、大学から始める人が多く、世界大会に出場する人もいます。本気で何かに打ち込みたいという人がいたら、ぴったりの部活です。

**縦と横のつながりは
どうですか。**

簗田 縦も横も、とても仲が良いです。『ファミリー』という学年が関係ない小グループがあり、相談もしやすいです。プライベートではお泊り会や学部ごとでのご飯もあります。

山本 練習中には上級生にも遠慮せずに自分の意見を言えます。真摯に受け止め、練習に取り入れてくれるので、思ったことを何でも言い合えます。

**モチベーションを
教えてください。**

山本 このチームが本当に好きで、皆で勝って喜びたい、もっと頑張りたいと思えることです。
簗田 メンバーみんなが勝つことを目標に頑張っているの、私もそれをサポートできるような頑張ろうと思えるところです。

**課題や目標を
教えてください。**

村上 チームとして掲げているラクロス全日本大学学生選手権大会に出場することです。未だ出場したことがないので、その舞台に立ち、歴史を塗り替えた
と思っています。そのため
走力、筋力の強化トレーニング

きつとこころが

貴方の居場所になる

—最後の青春を、共に過ごそう—

広いコートで、声を掛け合い全力で走り回る。

全国への切符を手にするために

全員で一体となって勝利を目指す。

「最高の青春をここで送りたい」

そう思える仲間たちとコート、

そして社会で活躍する女性になろう。

上を目指し続ける

九州大学女子ラクロス部の今に迫ります。



を全体でしています。
簗田 選手だけでなく、チームスタッフも試合に参加して盛り上げることで、審判資格を持つので、ファールの判断で練習を管理するなど、チームに貢献できるように頑張っています。

**読者の方へのメッセージを
お願いします。**

山本 初心者でも運動したことがなくても、皆が輝ける場所です。一緒にここで頑張りたい！

村上 試合の応援に是非来ててください。私たちが歴史を変える瞬間を皆さんと味わいたいです！



【取材協力】

主将
村上 欽奈さん
(農学部4年)



山本 果穂さん
(工学部2年)



マネージャー
簗田 愛子さん
(農学部3年)

Focus

「九州学生ラクロスリーグ戦」

8月から10月にかけて開催され、優勝することで全日本大学選手権大会に出場できます。

「ラクロス全日本大学学生選手権大会」

各地区の学生ラクロスリーグ戦優勝チームが出場し、学生の日本一を決めます。

「ラクロス全日本選手権大会」

全日本大学学生選手権の上位2校と社会人チームの上位2チームが戦い、学生、社会人を問わない日本一を決定します。

Data

- ◎ 部員数：53名(プレイヤー41名チームスタッフ12名)
- ◎ 活動日：月、水、土、日(月、水…多目的グラウンド/土、日…陸上競技場)
- ◎ 問い合わせ先 メール：qlax2015@gmail.com Twitter：@qlax_2019
Instagram：@qlax2019 HP：https://qlax2019.wixsite.com/-site

この記事は広報室学生スタッフが制作しました。

- (左から)
- 陣内 未来(教育学部2年)
- 坂元 渚(農学部3年)
- 小野 聖文(農学部3年)
- 財前 祐里香(21世紀プログラム3年)



Facebookページ <https://www.facebook.com/KyushuUniv.Student/>

今回はトンガから来たファカタバ・ナーティさんに、九大の魅力や日々の過ごし方についてインタビューしました。



出身国:トンガ王国

Fakatava Naati(ファカタバ・ナーティ)さん
歯学府博士課程2年生

フィジーの大学院を卒業後、母国で歯科医として勤務。より先進的な歯学を学修したいと留学を決意し、2019年4月に九州大学歯学府へ進学。教授陣や周囲の学生たちから手厚いサポートを受けながら、歯を支える歯周帯の機能に焦点を当てた研究に取り組んでいる。

My Favorite!



日本語集中コースの閉講式



研究室のみんなで野球観戦へ



日本食、大好きです!

Q 九大を選んだ理由は?

きっかけはトンガの日本大使館に勤務していた福岡出身の女性職員にアドバイスされたこと。なるべく母国に近い静かな環境で集中して勉強したいと相談したところ、九大を勧められました。学友たちに評判を聞くとも日本の中でも研究レベルの高い大学だと分かり、入学を決意しました。また、留学後に訪れた東京での喧騒に驚き、改めて九州を選んで良かったと思いました。

Q 九大で学んでいることは?

歯科分野で一般的な病気として挙げられるのが歯周炎。適切に治療されなければ歯の喪失を招き、消化不良や栄養摂取の阻害、体調不良など、人々の健康全般に影響を及ぼす可能性があります。そこで歯周病から歯を守る新しい医学的治療法を確立するための一助になるよう、歯周帯機能の維持や歯周組織の再生に関する研究に取り組んでいます。

Q 九大の魅力とは?

学術レベルが高く、歯科分野の治療技術が進んでいて、とても勉強になっています。最先端の機材が充実し、日常的に使えることも魅力です。新しいメソッドや研究・実験の方法を身につけ、着実に成長できている手応えを感じています。教授陣や学生たちが常に気にかけてくれ、勉強や生活面のアドバイスをしてくれることも心強い支えになっています。

Q 留学の醍醐味は?

学内には日本人学生のほか、バングラデシュやウガンダ、イギリスや中国など、20~30ヶ国から学びに来ている留学生たちがいます。学部が違ってもキャンパスで会うと、気軽に交流することも少なくありません。お互いの国や文化、家族や勉強のことなど、様々な会話をすることで多くの刺激を受け、視野を広げられているのは留学ならではの経験です。

Q 休日の過ごし方は?

日本よりも小さな島国のトンガには、高い山はほとんどありません。日本人の友人と油山にハイキングに行ったり、初めて見る爽快な景色に感動。それ以来、山登りが好きになりました。太宰府天満宮や糸島、百道浜など、福岡を代表する観光スポットを訪れたり、プロ野球を観戦したり、母国では体験できない休日を思いきり満喫しています。

Q 卒業後の目標は?

まず在学中の目標は、4年間でPh.Dを取得すること。卒業後は母国へ戻り、歯科医として現場の第一線で働きたいと考えています。トンガには歯の病気で苦しむ子どもたちやお年寄りがたくさんいるので、日本で学んだ最先端の治療法で一人ひとりを助けられよう力を尽くします。実務を通して、トンガの医療技術の進歩を支えていくことも目標の一つです。



椎木講堂

九州大学基金

—未来を切り拓くリーダーの育成—



寄附者
ご芳名

九州大学基金の趣旨にご賛同いただき、多大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。

本号では、平成30年4月6日から令和元年7月20日までに寄附申し込みいただいた皆様のご芳名(五十音順・敬称略)を掲載させていただきます。今後とも九州大学基金をよろしくお願い申し上げます。

～支援者の皆様～

企業・団体など

糸島市観光協会

オフィスバル

ハーブガーデンブレイル倶楽部伊都国

有限会社ハイハート

溝口建設

彼杵 道彦

今津校区自治協議会

古藤 英俊

イリスロード伊都商店連合会

スナックえみ

Bistro&BeerBar AMOUR

有限会社マルヒデ

周船寺校区自治協議会

福島 友臣

元岡商工連合会

社会福祉法人今山会

特別養護老人ホーム寿生苑

青島リゾート株式会社

株式会社技術開発コンサルタント

九州大学農学部同窓会

九州大学農学部同窓会タイ支部

桜木理化学機械株式会社

株式会社ジーンネット

筑波博朋会

株式会社トミー精工

学校法人福岡学園

不二製油グループ本社株式会社

山田水環境研究所

ほか 匿名希望1社

(計22企業・団体)

個人

阿尾 安泰

青木 三保

明石 信子

赤星 朋比古

天崎 一樹

荒木 四男美

荒巻 俊之

安藤 貴文

李 明鐘

井 隆蔵

飯田 正嘉

市来 雅伸

伊藤 早苗

井上 昂也

井上 強

井上 俊和

井原 恵子

岩永 宏平

岩元 睦夫

岩本 涼太郎

上杉 志朗

Rtn Junya Ueda

江頭 和彦

江上 華代

江口 正司

江藤 正俊

大島 秀樹

太田 真理

屋 宏典

納 壽一郎

鬼塚 聖也

小山田 莉緒

柿添 三郎

柏原 央

金房 純代

川井 修一

川里 祐子

河野 俊輔

河野 澄夫

姜 學模

木所 正行

北野 素和子

城戸 大志

金 錫權

金 京姫

木本 太

清廣 哲之

草刈 伸一郎

久保 千春

熊丸 敏博

倉光 正太郎

黒岩 圭子

許斐 ナタリ

小林 邦彦

坂口 賢史

相良 憲一

佐々木 智成

猿渡 敏晃

柴崎 博章

柴田 純一郎

嶋津 あゆみ

下條 信行

庄 寧

城 円

白倉 圭造

調 重俊

城石 幸博

新海 征治

仙野 万里子

宗 エマ

副島 弘暉

園田 猛二郎

園田 裕朗

園田 雷三

立石 匡志

田戸 亨

谷口 馨

谷口 壮一郎

玉井 宏樹

陳 日斗

塚原 泉

手嶋 靖久

寺元 郁人

寺本 憲央

富永 隆治

豊島 義博

豊原 充子

長井 政典

中島 孝行

中西 新二

長野 博志

中野 光男

永野 圭哉

中村 直樹

中村 浩昭

中山 貴央

中山 浩

新田 直人

野上 一男

野口 周一

朴 鐘烈

朴 相範

朴 鍾登

朴 成培

波多江 直之

濱田 盛承

東 登志夫

平方 裕己

平川 博將

広瀬 義躬

深田 保敏

深堀 聰子

福田 晋

福満 彩子

譜久村 清江

藤 光央

藤淵 俊王

古川 琢磨

外間 一智

堀 優子

堀内 和典

本田 学

松木 千恵

松葉 健一

三谷 武史

三宅 浩志

文 星筆

森 友樹

森 勇造

森井 宏輔

森永 洋昭

安浦 寛人

山下 和海

山下 智史

山田 秀雄

山田 愛信

尹 湧瑠

横松 良介

吉儀 利彦

吉村 英一郎

吉安 順子

盧 正官

和田 克之

渡辺 敦史

渡邊 正氣

ほか 匿名希望

112名

(計257名)

●お問い合わせ 九州大学総務部同窓生・基金課

〒819-0395 福岡市西区元岡744

TEL:092-802-2150

E-mail:k-kikin@jimu.kyushu-u.ac.jp

Webサイト:http://kikin.kyushu-u.ac.jp/

令和元年度「中本博雄賞懇談会」を開催

令和元年8月7日(水)、本学伊都キャンパス椎木講堂において、「中本博雄賞懇談会」を開催しました。この催しは、昨年、学生の支援のためにと多大なるご寄附を賜りました中本様をお招きし、「中本博雄賞」に採択された奨学生から、直接謝意をお伝えするとともに、中本様から奨学生に対する励ましの言葉などを頂戴するため、初めて開催したものです。

懇談会には、中本様ご夫妻を招き、本学からは奨学生はじめ、久保総長、丸野理事・副学長、若山理事・副学長、内藤理事・事務局長、山縣理事などの13名が出席しました。

懇談では、はじめに久保総長より歓迎の挨拶と中本様のご紹介があった後、中本様からご本人の生い立ち、戦時中・戦後の生活や九州大学への進学を強く希望していたことなどのお話があり、奨学生に対する激励など、貴重なお言葉を頂戴しました。その後、奨学生から自己紹介等を兼ねた発表に対し、中本様ご夫妻、総長、理事からも自然と笑みがこぼれ、終始和やかな雰囲気の中、活発な意見交換が行なわれました。

最後に、中本様ご夫妻、総長、理事、奨学生全員で記念撮影を行い、懇談会は盛会のうちに終了しました。



中本様のお話を熱心に聞く奨学生(手前)



奨学生との談話で笑みがこぼれる中本様(正面中央)

中本博雄賞

中本博雄氏の「日本人で向学心止みがたく、経済的に恵まれず、特に優秀で、日本国と海外に貢献する強烈な執念を持ち続けられる九州大学の学生を支援したい」という思いから創設された賞。中本氏から九州大学基金に寄附された資金を活用し、給付型支援奨学金「修学支援奨学金」「海外留学支援」「国際会議等参加支援」を本年度から実施。

海外留学支援 採択者の声

グローバル創薬人の育成を目指した アジア地区への派遣プログラムに参加して

大学院薬学府 修士1年

笹木 泉(平成30年度採択時)

本派遣プログラムにおいては、実際にマラヤ大学(マレーシア)の研究室に所属し、海外でどのような研究が行われているかを知ることができたほか、実際に行っている実験を体験することができました。私が所属している研究室(ITL)では免疫(特にHIV)に関わる研究を行っており、ヒト(患者)由来のサンプルを用いて実験を進めています。ライフイノベーション分野では、マウス等の動物を用いた研究を行っていますが、人間の体内メカニズムや疾患について理解し、創薬に繋げるためには臨床サンプルを用いた研究が必要となります。これまでヒト由来のサンプルを使用することがなかったため、今回ITLでヒト組織を用いて実験できたことは非常に貴重な経験となりました。

今回のマレーシア短期留学は私にとって初めての海外留学でした。留学に際して、現地で自分の英語が通じるか、食べ物や気候など様々な不安がありましたが、その中でも経済面に関して一番大きな不安を感じていました。九州大学基金の海外留学支援制度は、そんな私の不安を取り除き、留学へのハードルを下げてくださいました。そのおかげで日本にいただけでは経験できない文化や社会について学ぶことができ、また海外に身を置くことで自分自身を見つめなおすこともできました。本制度に共感し、支援して下さった全ての方々へ心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



滞在最終日に研究室(ITL)のメンバーと一緒に
(左が本人)

九大会員の皆様へ ～特典のご案内～



博多座

博多座 Webサイト
<https://www.hakataza.co.jp/>



出演：山口祐一郎、
 神田沙也加／桜井玲香(Wキャスト)、
 相葉裕樹／東啓介(Wキャスト)、
 大塚千弘、コング桑田、阿知波悟美、
 植原卓也、駒田一、石川 禪

会員特典

- ミュージカル ダンス オブ バンパイア
 A席通常15,000円
 →**九大会員特別販売価格10,000円(税込)**
 ※対象公演日
 2020年1月1日(水・祝)～3日(金)の昼公演

●チケット予約申込方法

①～⑥の必要事項を正確にご記入のうえ、
2019年10月15日(火)～11月29日(金)必着でハガキ、封書またはFAXでお申込みください。

- ※①郵便番号・住所 ②九大会員氏名(九大会員:九大 太郎)
- ③九大会員番号(九大会員証に印字されている8ケタ) ④希望公演日(1月〇日)
- ⑤予約枚数 ⑥日中連絡が取れる電話番号(自宅、携帯電話等)

※ご記入になられた個人情報は、チケットの予約手続き、代金請求および発送、または九大会員の確認のために利用いたします。

※お送りする請求書に記載されている口座にお振込をお願いいたします。ご入金を確認できましたらチケットをお送りいたします(振込手数料は九大会員様負担にてお願いいたします)。

●チケット予約申込先

〒812-8615 福岡市博多区下川端町2-1
 「(株)博多座 九大会員専用窓口 担当 尾崎」宛

FAX:092-263-3630
 九大会員専用 担当 尾崎 宛

ご注意事項

※博多座窓口、電話およびインターネットでのご予約は承っておりません。
 ※座席指定はできません。また、ご希望日時のご公演チケットが完売となることもございますのでご了承ください。
 ※お申込み後のキャンセル、日時などの変更はお受けできません。日時などはよくご検討のうえお決めください。
 ただし、請求書の日付から10日以内にご入金がなかった場合は、ご予約をキャンセルさせていただきます。
 ※未就学児童のご入場はご遠慮ください。
 ※九州大学総務部同窓生・基金課(092-802-2150)から、九大会員本人確認のためのお電話が入る場合がございますので
 予めご了承ください。



ハウステンボス Webサイト
<https://www.huistenbosch.co.jp/>
 【ハウステンボス承認番号 F-3591】



ハウステンボスのシンボルタワー
 「ドムトールン」

会員特典

「ハウステンボス1DAYパスポート」に
『ミールクーポン1,000円分』を付けて九大会員価格にて提供

- おとな(18歳以上)… **会員価格 6,800円** (パスポートのみ通常7,000円)
 - 中学生・高校生… **会員価格 5,900円** (パスポートのみ通常6,000円)
 - 小学生… **会員価格 4,500円** (パスポートのみ通常4,600円)
 - 未就学児(4歳～小学校入学前)… **会員価格 3,400円** (パスポートのみ通常3,500円)
 - おもしろい対象者★… **会員価格 5,000円** (パスポートのみ通常5,000円*)
- ★65歳以上の方、妊婦の方+同伴者1名、3歳以下のお子さまをお連れの方(同伴者2名)、ペット連れの方(1頭につき1名)
 *おもしろい対象者は、通常価格にミールクーポン1,000円分をお付けするかたちでの販売となります。

特典有効範囲

九大会員本人を含む4名まで会員価格にて利用可
 ※ただし、おもしろい対象者の方につきましては、★適応基準の範囲の方のみ対象となります。ハウステンボスホームページ記載条件に準じます。

ご注意事項

※当日会計時に九大会員証を提示し、九大会員特典を利用する旨を申し出てください。
 (オンラインストアでの購入、および会計後の特典割引は不可)
 ※当日、会員本人確認が可能な運転免許証、健康保険証、母子手帳等の提示をお願いする場合があります。
 ※入場券種・料金については期間途中、急遽変更となる場合があります。
 ※特典適応除外日あり(2019年12月31日)。特典適応除外日は、九州大学基金ホームページにてお知らせします。

九大会員特典の内容や料金は、予告なく変更になる場合がございますので予めご了承ください。
 各特典については、ご利用条件などをご確認のうえご利用ください。このほかにも多くの特典をご用意していますので、ぜひご入会いただけますようお願い申し上げます。

九州大学基金・
 九大会員に関する
 お問い合わせはこちら

九州大学総務部同窓生・基金課
 〒819-0395 福岡市西区元岡744 TEL:092-802-2150
 E-mail:k-kikin@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学基金Webサイト
 九州大学基金
<https://kikin.kyushu-u.ac.jp/>



同窓会に行こう

九州大学同窓会連合会は、部局別同窓会と地域別同窓会の連合体組織として、同窓会の横断的な活動や組織作りを支援し、同窓生相互の交流と親睦を深めるとともに、九州大学と同窓生の情報交換や連携協力を緊密にし、九州大学の発展と学術の振興に貢献することを目的として活動しています。

会員同窓会からのお知らせ

工学部同窓会

〈連絡先〉事務局 林久美子
Tel: 092-802-2728 Fax: 092-802-2712
Email: koo8100@jimu.kyushu-u.ac.jp

約5万人に及ぶ会員数を有する本会は、会員の親睦を図ると共に、九州大学工学部及び大学院工学府の事業を支援し、その発展に寄与することを目的とし活動しています。詳しくはホームページをご覧ください。 <https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/alumni/>

芸術工学部・九州芸術工科大学同窓会(渾沌会)

〈連絡先〉事務局 Email: office@konton.jp

本会は、福岡の本部と関東支部および関西支部から成り立っています。最近では、新卒者や在学生と卒業生との交流促進に力を入れています。芸工関係者の皆さん!『芸工アプリ』で検索してみてください。

農学部同窓会

〈連絡先〉同窓会事務局
Tel: 092-806-9005 Fax: 092-806-9005
Email: dousou@grt.kyushu-u.ac.jp

学生の皆さんは、入学・進学と同時に同窓会の正会員です。皆さんは、幸運なことに農学部創立百周年という記念すべき節目に居合わせました。会員間を縦糸と横糸でゆるやかに紡ぐ同窓会活動のさらなる発展にご助力下さい。

地球社会統合科学府同窓会(比文同窓会)

〈連絡先〉比較社会文化研究院 阿部康久
Tel: 092-802-5630 Fax: 092-802-5630
Email: abeya@scs.kyushu-u.ac.jp

旧比較社会文化研究科・学府は地球社会統合科学府という名称に改組され、ますます発展しています。同窓会では、毎年、修了生懇親会を開催していますので、是非とも、ご参加下さい!

同窓会の開催情報はこちらへ!

九州大学同窓会連合会ウェブサイト
<http://doso-rengo.jimu.kyushu-u.ac.jp/>

九州大学同窓会連合会

検索



Kyudai Alumni Association

同窓会だより

【ヨット部】帆友会関東支部



集合写真

リンピック
出場にチャ
レンジして
いる田中航
輝さん(日
28卒)から
もチャレン
ジ取組状況
について報
告をいただ
きました。

令和で初めての帆友会関東支部総会が6月8日(土)15時~17時30分、恵比寿ガーデンプレイス内の「恵比寿ガーデンカフェ」で開催されました。当日は村上順雄先輩(S31卒)をはじめ出席者は総勢44名で、本部からは平畑監督と永野主将の2名に来賓としてご出席いただきました。今年も平成27年以降卒業の若手OB・OGが13名も出席され、帆友会関東支部が益々若返りしていくのを感じさせる支部総会となりました。来賓の永野主将からはヨット部の現況報告をいただき、平畑監督からは今年度の全日本インカレに対する抱負と現状の戦力分析等を踏まえた意気込みを報告いただきました。懇親の合間に、事務局幹事から「全日本A級ディングリー千葉稲毛大会への応援参加呼び掛け」と「アルパトロス賛助会員の募集について」のご案内をいたしました。

また、現在『うめぼし航海』で世界を旅する増田潔さん(S49卒)がカリブ海から一時帰国中の中でのご参加という事で、『うめぼし航海うめぼし放浪記』の現在の状況についてお話しいただきました。

今年の支部総会のメインイベントは昨年引き続き國弘先輩(S38卒)率いる「ジャンティー・コーラス隊」8名に若手OB・OG6名を加えた総勢14名によるジャンティー合唱でした。全7曲を通して歌う大合唱となり、最後は全員で『ヨット部数え歌』を歌って、支部総会を大変盛り上げて頂くことになりました。

帆友会関東支部幹事長 佐々木誠一(昭和59年・経済学部卒) 〈連絡先〉E-mail:s.ssk@jcom.home.ne.jp

農学部同窓会

農学部同窓会では、2017年及び2018年に『さよなら「箱崎農学部同窓会」と銘打った催事で箱崎キャンパスに別れを告げ、令和元年5月25日（土）、評議員会・総会をウエスト5号館にて開催しました。すなわち、これが伊都キャンパスにおける初めての同窓会会合です。総会では、和田光史氏（昭和26年農芸化学科卒）から山崎信行氏（昭和37年農芸化学科卒）への会長交代、及び横川洋氏（昭和42年農政経済学科卒）の副会長就任が紹介されました。また、十数年ぶりの会員名簿編纂が提示されました。

夕刻、ウエスト5号館1階のアグリダイニングにて開催された懇親会は、眼下に広がる市街地と遠くには背振山系の雄大な山並みを望みつつ、70名ほどの同窓生が歓談する宴となりました。

令和元年、農学部は創立百周年を迎えました。10月19日（土）には、これを記念した行事が執り行われます。次の百年を見据え、農学部同窓会においては高齢化の波を乗り越えて、若い人材とその発想を糧に、組織の一層の充実と発展を目指しています。



懇親会にて(和光光史前会長と井上眞理前監事)

農学部同窓会理事 麻生陽一(昭和46年・農学部卒)

〈連絡先〉九州大学農学部同窓会事務局 TEL・FAX:092-806-9005 E-mail:dousou@grt.kyushu-u.ac.jp

経済学部同窓会福岡支部

6月18日(火)にホテルニューオータニ博多において令和元年度の九大経済学部同窓会福岡支部総会を開催しました。

続いて特別講演会に移り、九州大学学術研究・産学官連携本部准教授の熊野正樹先生に、「九州大学起業部の挑戦」と題してご講演いただきました。

懇親会には、220名の来賓や同窓生等が参加し、大盛況でした。貫正義同窓会長(福岡支部長兼務、昭和43年卒)に開会挨拶をいただき、来賓として法学部同窓会事務局長の五十君麻里子法学研究院教授にご挨拶をいただきました。それから名誉教授の紹介に移り、10名の白寿を迎えられる木下悦二先生に、経済学部同窓会の貫会長よりお祝いの品を贈呈、木下ゼミOBで東京支部の伊東信一郎副支部長にお祝いの言葉を述べていただきました。閉会の



木下先生白寿のお祝い
(写真中央右:木下先生、同左:貫会長)



「松原に」合唱

時間も近づいてきた頃、森恍次郎福岡支部監事(昭和45年卒)に歌(谷村新司の「群青」)を披露していただきました。

続いて、恒例の「松原に」の映像を流し、参加者全員で合唱しました。

最後は貞刈厚仁福岡支部副支部長(昭和52年卒)に博多手一本を入れてもらい、令和元年度総会は閉会となりました。

経済学部同窓会福岡支部事務局長 高木直人(昭和57年・経済学部卒、平成25年・経済学府博士課程修了)

〈連絡先〉九大経済学部同窓会福岡支部事務局 TEL:092-721-4900 E-mail:soumu-02@kerc.or.jp



九州大学愛媛同窓会

2019年7月27日(土)に今年度の九州大学愛媛同窓会の総会・懇親会が開催されました。今回は、サイボウズ株式会社様のご好意で、松山市二番町の松山オフィスの会場を無料でお貸しいただき、45名の同窓生が県内から集まりました。

総会では、蔵原一郎会長(1954年・医学部卒)が挨拶されました。また、蔵原会長の意向で会長の交代が提案され、新会長として加藤弘正さん(1984年・歯学部卒)が推薦され、承認されました。

引き続き、来賓の九州大学理事・副学長の荒殿誠先生と北海道大学愛媛エルク会幹事長の鈴木聡先生(愛媛大学沿岸環境科学研究センター教授)のご挨拶がありました。荒殿先生には、スクリーンを使ったプレゼンで九州大学の最新の状況をお話しいただきました。鈴木先生には、北海道大学愛媛エルク会の活動、特に九州大学愛媛同窓会との交流についてお話しただきました。

その後の懇親会は、カジュアルな雰囲気の中で和やかに行われました。今回の懇親会では、ポスターセッションを設けてみました。参加者の皆さまのご協力により、以下の企業・団体・個人の方々のポスターが集まりました。



ベストポスター賞の大内さんとそのポスター

ポスターを見ながら歓談



参加者全員で記念撮影

住友重機械イオンテクノロジー、南海放送、愛媛大学、三浦工業、松山市医師会、愛媛県歯科医師会、大内崇史さん(2015年・工学府博士後期課程修了(三浦工業))、Newsplus Jの愛媛、北海道大学愛媛エルク会、北大同窓会十九大同窓会、愛媛県庁河川課(順不同)

ポスターの作成者によるプレゼンも参考にした参加者の投票で、九大の在学中の研究を説明された大内さんのポスターが、「ベストポスター賞」に選ばれました。すばらしい会場での和やかな雰囲気、懇親会は、ポスターセッションのおかげもあり、大いに盛り上がりました。会場を提供いただいたサイボウズ松山オフィスと、ポスターを出品された方、参加された方、全ての皆さまに御礼申し上げます。

九州大学愛媛同窓会幹事長 土屋卓也(昭和58年・理学研究科修了) (連絡先)E-mail:tsuchiya.takuya.mb@ehime-u.ac.jp

関西同窓会

令和元年8月9日(金)、ハートンホテル北梅田にて、関西同窓会2019年公開講座・総会・ビアパーティを開催しました。

第六回となった今回の公開講座では、歯学研究院の武洲准教授をお招きし、「認知症予防のコツはお口にあり」口腔プレインサイエンス」をテーマに、口から脳を守る科学的な知見ならびに具体的な口腔ケアについてご講演いただきました。ほぼ満員となった会場は、身近なテーマであったことや講師の熱心な人柄もあり、終始熱気に包まれました。

続く総会では、会長が上野至大(昭和42年・工学部卒)氏から中野健二郎(昭和46年・経済学部卒)氏に、幹事長が岡政徳(昭和44年・法学部卒)氏から中野光男(昭和50年・経済学部卒)氏に交代すること、並びに佐藤義雄(昭和48年・法学部卒)氏が新たに副会長に就任することが承認されました。なお、本交代に伴い、上野会長は名誉会長に、岡幹事長は名誉幹事長に就任することが提案され、満場一致で承認されました。

懇親会は、北野



参加者の質問に答える武洲教授



退任する上野会長、岡幹事長を囲んで(下段右から、上野会長、岡幹事長、また上段右は中野新会長)

嘉文(昭和57年・経済学部卒)氏が司会を務め、上野会長から、「融合ではなく、個々の特徴、個性が生きる和合の考えで、今後も同窓会として協力し、九州大学の発展を見守っていききたい。」旨の退任挨拶があり、山縣由美子理事からは、退任される上野会長、岡幹事長への感謝が述べられました。続いて、新会長となる中野健二郎氏から就任の挨拶及び乾杯のご発声があり、開宴となりました。歓談をささみ、岡幹事長から退任の挨拶、新幹事長となる中野光男氏から就任の挨拶があり、初参加の12名による自己紹介が行われた等、会は賑やかに進みました。

最後は、恒例となっているコールアカデミーOBによる合唱の後、応援団OB及び清廣哲之総務部長によるリードの下、全員で「松原に」を合唱し閉会しました。

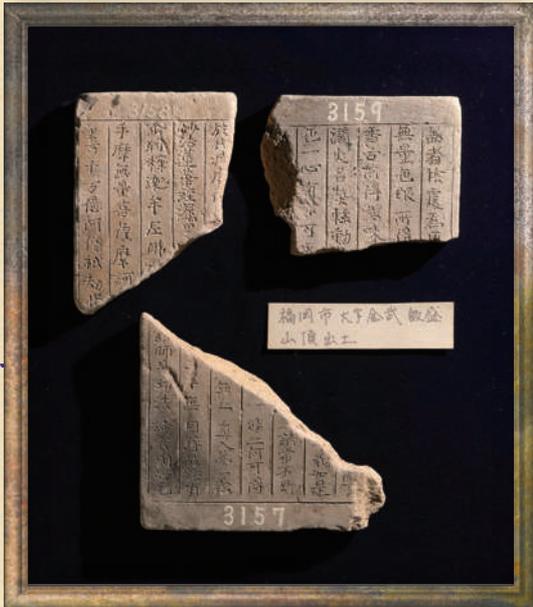
関西同窓会幹事長 中野光男(昭和50年・経済学部卒) (連絡先)E-mail:osaka-office@jimu.kyushu-u.ac.jp



福岡市指定有形文化財
『飯盛山出土瓦経』3点
(平成24年3月19日指定)

瓦経とは方形か長方形の粘土板に経文を刻み焼き固めたものです。末法の世に経典が失われるのを恐れ、弥勒下生の未来まで地下に埋めて保存しようとした経塚造営習俗の産物で、多数を纏めて埋納されました。日本では永承7(1052)年から末法に入るとされされており、経塚造営は、末法の到来に備えて、11世紀から始まりました。経塚には紙本経を容器に納めて埋めた例が一般的ですが、不朽を願った瓦経や銅板経も作られました。瓦経の埋納地は西日本にかたより、36例と少なく、11〜12世紀に集中します。紀年銘を持ち実年代が明らかかなものは9例、出土時の状況が明らかかな例は5例しかありません。

福岡市西区の飯盛山山頂から、大正13年の祈雨祭の際に瓦経が400点以上出土しましたが、その後各所に分散してしまい、現在では約半数しか残っていません。当館所蔵の3点はその一部と推定され、旧制福岡高等学校教授玉泉大梁氏が蒐集した旧玉泉館資料に属し、妙法蓮華経・仁王経が刻書されています。他所に所蔵される1点には紀年銘・願文が記され、永久2(1114)年に造営されたこと、在地領主の壬生氏が造営に関与したことが判りますし、発見時の記録から瓦経塚の構造も復元できることから、飯盛山瓦経の学術的価値は極めて高いと言えます。



九大博物館所蔵の
文化財指定品

九州大学総合研究博物館には約145万点の貴重な標本・資料が収蔵されており、代表的資料を『MUSEUM REPORT』で紹介してきましたが、中には行政機関によって文化財に指定された物もあるので紹介します。

福岡県指定有形文化財
『稲童古墳群15号墳出土人骨』1点
(平成24年3月26日指定)

稲童古墳群は福岡県行橋市稲童に所在する古墳時代前後期に及ぶ古墳群であり、帆立貝式前方後円墳1基、円墳24基からなります。方形板葺短甲・三角板葺短甲・眉庇付青・衝角付青・鉄剣・鉄矛など、鉄製の武器・武具が多数副葬されていたことで著名です。この古墳群は、周防灘に面した稲童海岸砂丘に位置し、北部九州と近畿を結ぶ瀬戸内海の最西端に当たることから、近畿と交渉した有力な首長たちの墓とみられます。このうち8号墳(中期・15号墳(前期)・21号墳(中期)出土の上質な武器・武具類などの出土品と人骨が、平成23年度に一括して福岡県の文化財に指定され、遺物は行橋市、人骨が調査に関わった九大に保管されました。



15号墳の人骨を除いた遺物群が平成27年度に国の重要文化財に指定されましたが、人骨の県指定は変更ありません。15号墳の男性は、遺存状態が良く、高顔・高眼窩の強い渡来的形質を有す一方で、稲童石並遺跡の女性は低顔傾向を有し、対照的な傾向を示しています。いずれも1体での見解であるため、現在も研究は続けられています。豊前地域の古墳人は渡来的形質をより強く有することが知られているため、きわめて興味深い傾向といえます。

(九州大学総合研究博物館教授 岩永省三、同助教 米元史織)

日本初開催！

QS-APPLE 2019

第四次産業革命と高齢化社会： 変わりゆく大学の役割

Industrial Revolution 4.0 and Ageing Societies: The Changing Role of Universities in the Asia Pacific

2019年11月26日(火)～11月28日(木)

会場：福岡国際会議場

QS-APPLEとは

QS社が開催する年次総会のひとつ。正式名はQS Asia Pacific Professional Leaders in Education。QSとは英国の大学評価機関クアクアレリ・シモンズ(Quacquarelli Symonds)の略称。

開催趣旨

高等教育に関する最新トピックス、課題やグッドプラクティスの共有、国際ネットワークの推進、協定校開拓。
■参加者：主にアジア太平洋地域の高等教育関係者(副学長クラス、国際および広報部門の管理職、実務担当者)

お問い合わせ先

■QS-APPLE2019 九大事務局 TEL:092-802-2206/2205
Mail:qsapple2019@jimukyushu-u.ac.jp

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/approach/qs2019>



九大広報についてのご意見・ご感想をお寄せください！

- 「九大広報116号」で面白かった記事
- 今後掲載してほしい企画
- その他「九大広報」に関するご意見・ご感想

URL <https://q.s.kyushu-u.ac.jp/1L0D-wjte2/>





九州大学

KYUSHU UNIVERSITY

住所変更ほか、発送についてのお問い合わせは、
封筒記載の連絡先へお願いします。

九州大学広報室

TEL:092-802-2130 E-mail:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学学生後援会

TEL:092-802-5968 E-mail:gaggkouenkai@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学同窓会連合会

TEL:092-802-2158 E-mail:sycdo-rengo@jimu.kyushu-u.ac.jp